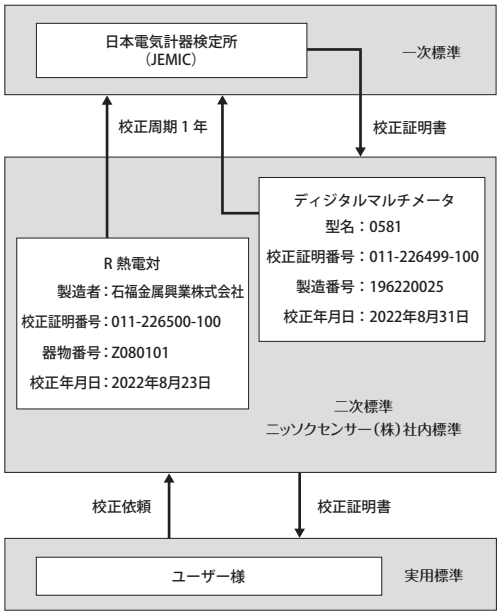
■熱電対・測温抵抗体の比較校正サービス

校正が必要な第一の理由として、測定器にも経年変化や摩耗あるいは何らかの不慮の事態によって、測定器が正しい値を表示しなくなることがあるということが挙げられます。また、国際的な品質保証規格のISO9000にも、“定められた間隔で、国際又は国家計量標準にトレース可能な計量標準に照らして校正又は検証する”の記述があるように(計測機器管理の参照規格のISO 10012にも同様の記述があります)、計測機器の校正というのは大変重要なことなのです。弊社では温度試験だけでも、低価格・短納期で校正させていただきます。お気軽にお問い合わせください。但し、現地出張による校正サービスや定点測定法による温度試験は行っておりません。弊社の標準器は日本電気計器検定所(JEMIC)でJCSS校正を定期的に受けており、トレーサビリティーが確立されています。また、温度試験炉・0℃校正用試験槽など、充実した設備を備えておりますので、極端に太い・長い・短いなど様々な測温体の試験が行えます。その他、温度試験データや、応答速度試験データ、再現性試験データ、耐電圧試験、振動試験、耐圧気密試験等もご要望にお応え致します。特殊形状測温体などの校正の場合もお問い合わせください。

	校正温度(℃)	必要長さ(mm)	可能保護管径(mm)
熱電対 R・S・B・N・K・E・J・T	−30〜100	100	0.5〜8.0
		220	〜12.0
	〜400	300	0.5〜8.0
		400	〜12.0
	〜1300	600	0.5〜15.0
白金測温抵抗体 Pt100・JPt100 (3線式・4線式)	−30〜100	80	1.4〜6.0
		150	〜12.0
	〜150	80	1.4〜3.2
		220	〜15.0
	〜350	220	1.4〜8.0
		400	〜15.0

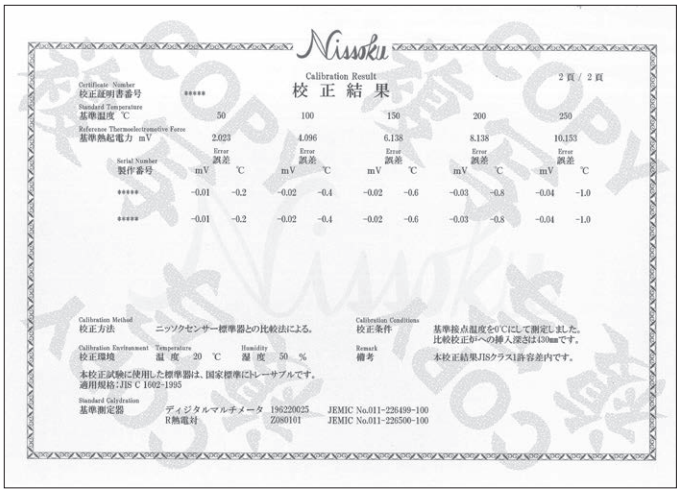
※校正は対象品を薬品で洗浄後に行いますが、対象品の付着物によっては校正後に表面が着色することがあります。
※校正のための前処理をご希望される場合は、ご相談に応じます。
※校正品の状態(センサ構造・分解能、履歴など)及び校正条件(電流値など)で、校正の最高能力は異なります。
※白金抵抗温度計の校正値は電流0.5mAの抵抗値が標準です。電流は1mA、2mA、も指定できます。

●比較校正温度試験体系図



●温度試験成績証明書 見本

Nissoku
Calibration Certifieate
校正証明書
1頁/2頁
御中
Certificate Number 校正証明書番号
Name of Product 品名 熱電対
Order Number 要求番号
Drawing Number 図面番号
Serial Number 製作番号
Rating 定格
校正の結果は次頁のとおりであることを証明します。
Date of Calibration 校正年月日 2022年10月20日
Date of Issue 発行年月日 2022年10月20日
Inspector 検査
Approved 承認
Nissoku


Nissoku
Calibration Result
校正結果
2頁/2頁
Certificate Number 校正証明書番号
Standard Temperature 基準温度 ℃
Reference Thermoelectromotive Force 基準熱起電力 mV
Serial Number 製作番号
Calibration Method 校正方法 ニッソクセンサー標準器との比較法による。
Calibration Conditions 校正条件
Calibration Environment 校正環境
Remark 備考
Standard Calibration 基準測定器
ディジタルマルチメータ 196220025 JEMIC No.011-226499-100
R熱電対 Z080101 JEMIC No.011-226500-100